

北海道石狩地域における牛乳房炎由来 *Escherichia coli*
および *Klebsiella* 属菌の薬剤感受性

酒見蓉子¹⁾ 御囲雅昭²⁾ 篠田浩二郎²⁾ 村松康和¹⁾
上野弘志¹⁾ 田村 豊^{1)†}

1) 酪農学園大学獣医学部 (〒069-8501 江別市文京台緑町582)

2) 北海道石狩地区農業共済組合 (〒067-0055 江別市篠津401-4)

(2009年2月23日受付・2009年9月24日受理)

要 約

乳房炎由来細菌の薬剤感受性状況と、薬剤耐性化による公衆衛生上のリスクを評価する目的で、平成18年6月～9月に北海道石狩地域で発症した牛乳房炎由来 *Escherichia coli* および *Klebsiella* 属菌について薬剤感受性試験を行った。抗菌剤は、動物用および医療用の18種類を供試した。供試した106株の *E. coli* 中29.2%、34株の *Klebsiella* 属菌中91.2%に耐性株を認めたが、*E. coli* は家畜由来指標細菌の耐性率より低く、*E. coli*、*Klebsiella* 属菌ともに二次選択薬である動物用抗菌剤に対してすべて感受性であった。したがって、該当地域における牛乳房炎由来 *E. coli* および *Klebsiella* 属菌の人の健康への直接的な影響は少ないと考えられた。

——キーワード：薬剤感受性、牛乳房炎、*Escherichia coli*、*Klebsiella* 属菌。

----- 日獣会誌 63, 215～218 (2010)

† 連絡責任者：田村 豊 (酪農学園大学獣医学部獣医学科衛生・環境教育群食品衛生学ユニット)

〒069-8501 江別市文京台緑町582 ☎・FAX 011-388-4890 E-mail: tamuray@rakuno.ac.jp